

資料① 南スーダン「大虐殺発生のリスク」国連が警告（朝日新聞デジタル 2017年2月8日）

国連のアダマ・ディエン事務総長特別顧問は7日、南スーダン情勢について「（民族間の）大虐殺が発生するリスクが常に存在している」と警告する声明を出した。多くの避難民が隣国などに逃れ、外国からの武器の流入も続いているという。

ディエン氏は声明で「キール大統領は暴力を止めると約束したが、衝突が続いている」と現政府を批判。1月だけで隣国ウガンダに5万2千人超が逃れており、多くの避難民が、市民の殺害や性暴力、家屋の破壊、財産の収奪などを証言しているという。

南スーダンに武器禁輸などの制裁を科す安保理決議案は、米国が「民族対立が虐殺につながりかねない」として昨年主導し、各国に賛同を迫った。だが日本やロシアなど8カ国が棄権したことで廃案となった。

ディエン氏は安保理決議案について「広範囲に及ぶ協議にもかかわらず」廃案になったと振り返った上で、「そうこうしているうちに、武器の流入は続いている」と指摘した。

またディエン氏は、特に懸念する地域として、首都ジュバから約100キロ南のカジョケジを挙げた。国連平和維持活動（PKO）の部隊の行動も制約されているほか、住民も無理な移動を強いられているという。

ディエン氏は南スーダンについて昨年11月にも、「民族間の暴力が激化し、ジェノサイド（集団殺害）になる危険性がある」と警告していた。

資料② 南スーダン内戦「壊滅的規模」に、收拾つかない恐れを国連が警告（AFPBB News 2月16日）

南スーダンの内戦が「民間人にとって壊滅的な規模」に達しており、さまざまな民兵集団の台頭によって事態の收拾がつかなくなる恐れがあると警告する機密報告書を、国連（UN）が安全保障理事会に提出していたことが分かった。戦闘が何年も続くことになると警鐘を鳴らしている。

アントニオ・グテレス（Antonio Guterres）国連事務総長は、AFPが14日に入手した報告書の中で「記録的な人数」の民間人が自宅のある村や町から逃げていると指摘。集団的な残虐行為の危険が「現実存在する」と述べている。

13日に安保理に提出された厳しい内容の報告書に先立ち、グテレス事務総長は先月、3年に及ぶ内戦の終結を目指して南スーダンのサルバ・キール（Salva Kiir）大統領や地方の指導者らと会談していた。

「（南スーダン）国内では各地で治安状況が悪化の一途をたどっている。長引く紛争と暴力行為がもたらす影響の大きさは、民間人にとって壊滅的な規模に達している」と、グテレス事務総長は述べている。

報告書によれば、内戦に関与する全ての当事者が高圧的な軍事行動を展開しているが、特にキール大統領に忠誠を誓う政府軍は「毎日のように家屋や人々の暮らしを破壊している」という。

その上で報告書は、「スーダン人民解放軍（SPLA、政府軍）や反体制派の緩い指揮命令下で次々と民兵集団が台頭し、組織の分裂や支配地域の移動が広がっている。こうした傾向が続けば「いかなる政府の統制も及ばない状態がこの先何年も続く恐れがある」と警告している。

出典：朝日新聞デジタル及びAFP ニュース記事より抜粋

外交防衛委員会 2017年3月9日 日本共産党 井上哲士 提出資料

南スーダン政府内において 大統領を批判して辞任した高官、政府軍幹部

ヘンリー・オヤイ・ニャゴ(Henry Oyay Nyago) **准将**

大統領による戦争犯罪と民族浄化を非難して辞任 (2017年2月18日までに)

ハリド・オノ・ロキ(Khalid Ono Loki) **大佐**

大統領の出身民族ではない民間人の犯罪をねつ造して逮捕・拘束していると参謀総長を非難して辞任 (17年2月18日までに)

ガブリエル・ドウオ・ラム(Gabriel Duop Lam) **労働大臣**

大統領に対立するマシャール前副大統領に対する忠誠を表明して辞任

(17年2月17日)

トマス・シリロ・スワカ(Thomas Cirillo Swaka) **中將**

大統領とその出身民族の政府軍幹部が「民族浄化」をおこなっていると非難して辞任 (17年2月12日までに)

ナシケ・アラン・ロチュル(Nasike Allan Lochul) **労働・公共サービス副大臣**

2015年に締結された和平合意の実現に向けた政治的意志が大統領と政府高官に欠如しているとして辞任 (2016年12月16日までに)

ラム・アコル・アジャウィン(Lam Akol Ajawin) **農業・食糧安全保障大臣**

政府の和平合意への関与が欠如しているとして辞任 (16年8月1日までに)

出典：国会図書館政治議会課による調査にもとづき井上事務所作成

外交防衛委員会 2017年3月9日 日本共産党 井上 哲士 提出資料